

## 第7回高専・海事教育フォーラム

### 第7回 高専・海事教育フォーラム

令和8年2月6日（金）、「第7回高専・海事教育フォーラム」を開催した。このフォーラムは、富山高等専門学校、鳥羽商船高等専門学校、広島商船高等専門学校、大島商船高等専門学校、弓削商船高等専門学校の商船系高専5校が互いに協力して推進する「次世代の海洋人材の育成に関する事業」の一環として、その事業を構成する2つの取組、すなわち「海事・海洋分野の人材育成事業」（主管校：富山高専）および「海事・海洋の魅力を伝える広報活動」（主管校：弓削商船高専）の内容と成果について、海事関連団体、海事関連企業、海事教育機関及び高専生の保護者等に広く周知することを目的として、上記5校の主催により開催した。

7回目となる今回は、機械振興会館ホール（東京都港区）を主会場とした。また、主会場への来場が難しい参加者を対象として、「Microsoft Teams」のビデオ会議システムも併用し、ハイブリッド形式で開催した。今回のフォーラムには、その共催団体でもある日本船主協会・全日本船舶職員協会・全日本海員組合・国際船員労務協会・海技教育機構・日本内航海運組合総連合会・東京海洋大学海洋工学部・神戸大学海洋政策科学部・日本海洋少年団連盟をはじめ、高専機構本部、各高専およびその他海事関連団体、海事関連企業、海事教育機関等から、計124名が参加した。

フォーラムでは初めに富山高等専門学校の國枝校長による挨拶があり、続いて国立高等専門学校機構理事長の谷口功、文部科学省高等教育局専門教育課長の松本英登氏、国土交通省海技課長の西畑知明氏よりご挨拶を頂いた。その後、本事業およびそのサブ・プロジェクトの担当者等から取組の内容や成果について説明や発表が行われた。さらに本事業の連携機関である日本船主協会・全日本船舶職員協会・全日本海員組合・国際船員労務協会・海技教育機構・日本内航海運組合総連合会・日本海洋少年団連盟より、「未来に向けて（連携機関からの提言）」と題して、それぞれご意見をいただいた。それを受けて、高専担当教員より「未来に向けて（高専からの提案）」と題して今後の事業展開の内容を提案した。最後に、弓削商船高等専門学校の内田校長の挨拶によりフォーラムを締めくくった。



国立高等専門学校機構 理事長  
谷口 功



文部科学省 高等教育局  
専門教育課長 松本英登氏



国土交通省海技課長 西畑知明氏



本事業およびそのサブプロジェクトの担当者等による  
取組の内容や成果についての説明や発表



本事業の連携機関による  
「未来に向けて」

## 第7回高専・海事教育フォーラム

参加者を対象に実施した本フォーラムに関するアンケート調査の結果は以下の通りであった。

### フォーラムにおける報告等に関するアンケート結果

各項目の内容に興味を持っていたかかの質問に対する以下5段階の回答を数値化し、その平均を算出したもの—— 5=とても興味を持った、4=ある程度興味を持った、3=どちらともいえない、2=あまり興味を持てなかった、1=全く興味を持てなかった	
『海事・海洋分野の人材育成』各サブ・プロジェクト報告	4.6
『海事・海洋広報活動』各サブ・プロジェクト報告	4.5
未来に向けて	4.5

このアンケート結果では、5段階評価で4.5、または4.6の評価をいただいた。このため、参加していただいた方には、いずれのセッションについても内容に興味を持っていた、すなわち、この事業の取り組み自体にも興味を持っていたと総括できる。このアンケートには、自由記述欄も設けたが、その中でも多くのご助言、ご意見、激励のお言葉を頂いた。次年度以降、本フォーラムでいただいたご意見、構築したネットワークを活用して本事業をさらに発展させ、実のある海事・海洋分野の人材育成、および広報活動となるよう、関係教職員一同、取り組む。

(文責：富山高等専門学校 保前友高)